

活動名	昭和学院中学校・高等学校での出張講義「情報システムを作ってみよう」
-----	-----------------------------------

貢献・連携類型	4. 小中高大連携・協力
---------	--------------

報告者	応用情報工学科	学科	職位	准教授	氏名	五味 悠一郎
-----	---------	----	----	-----	----	--------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

大学で情報を学び将来はシステムエンジニアやネットワークエンジニアになりたい、という学生生徒の声を聞くことも多々あります。こうした学生生徒の多くは、プログラミングができればシステムが作れると考えていますが、実はプログラミングはシステム開発の一部であり、プログラミングだけではシステムは作れません。

この授業では、システムやシステム開発手順の講義を行って、システム開発の上流工程である要求分析についてKJ法を用いたグループワークを行い、システムの企画書をまとめました。情報活用とコンピュータは分けて考えてほしいので、グループワークではPC等の情報端末をあえて使用せず、模造紙と付箋紙およびペンだけで行いました。実務は就職してから幾らでも経験できて身につくので、あえてレガシーな内容を取り扱いました。

質疑応答では、ゲームを作りたい、起業したい、などの質問があったので、学生生徒の立場でも、コミックマーケットといった同人誌即売会などに出席し、自分の実力を確かめることもできるといったアドバイスをさせていただきました。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

企業でシステム開発の経験がある中学高校の先生は少ないと想定し、プログラマーとシステムエンジニアの違いを理解できることに主眼をおき、中学生以上であれば理解できて楽しめる内容としたつもりでしたが、学生生徒たちの感想から、上手く伝わったことが確認できました。大学での学びに対するモチベーション喚起にもなったようです。

■大学の授業を楽しく学ぶーキャリアアップ講座「情報システムを作ってみよう～システム開発の上流工程を学ぶ～」（令和7年2月28日）
<https://showa-gkn.ed.jp/js/comprehensive/chugaku/39726/>
 今後も、中学高校のカリキュラムに沿った、満足度の高いコンテンツを開発していきます。

対象・相手先	昭和学院中学校・高等学校
--------	--------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入） 昭和学院からの依頼

実施日時	令和7年2月28日 15時30分～16時30分
------	----------------------------

場所	昭和学院中学校・高等学校
----	--------------



本学からの参加者
 応用情報工学科 五味悠一郎

